

平成30年9月11日（火）

○議長（岡 弘悟君）順番11、12番 堀内君。

〔12番（堀内和久君）登壇〕

○12番（堀内和久君）皆さん、こんにちは。どうぞよろしくお願ひいたします。

先日からの台風21号並びに北海道地震、亡くなられた方には心からお悔やみ申し上げますとともに、お見舞い申し上げます。

本市も台風で結構な被害を受けたと思います。職員の皆さまには危機管理監、市長を筆頭に、本当に迅速に対応していただいたことを心より感謝しております。その中で、やはりプロ意識というか、プロだなと思ったのはやっぱり消防ですかね。紳士な消防長の割には割とワイルドで決断力のある、僕は本当に感動しました。特に、現場の職員のチームワークというんか対応、ほんまにプロなんです当たり前と言ったら当たり前なんですけども、近くで見るとやっぱり本当にプロだなと思って、倉庫の上に倉庫が載っていたんですね。これをどうなったらこうなるんやろうという話なんですけども、言葉では説明しにくいんですけども、やはりプロですね。本当に対応していただいて、地域の近隣に迷惑がかからないように迅速に対応していただきました。本当にありがとうございます。心より消防職員の皆さまにはお礼申し上げますとともに、私誇りに思います。橋本消防はやっぱりすごいと思います。

続いて、ちょっと消防の関係なんですけど、FMはしもとをちょこちょこ聞くんですけども、これも消防ですね。クールチョイス宣言というのが耳に入ってきてまして、これも消防のほうから節電とかもったいないという意識、誠心誠意というのをすごく感じて、当たり前のようなことを当たり前にしようということ

なんですけども、改めて僕の中でもやっぱり感じたことが大きかったです。勉強になりました。消防長にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

また、この暑い中、市役所はエアコンの節電というんですかね、管財課で27℃か28℃ぐらいに天井の上限を設定されているらしいんですね。市役所の職員皆さんが節電に努めているということを壇上で一言、一般質問の再質問にも関連してくるんで、ちょっとここで申し上げておきたいと思います。管財課、総務部長には、本当にこれも感謝申し上げる次第であります。

それでは、議長にお許しをいただいておりますので、通告に従い、質問させていただきます。

質問の前に、もう一つ通告があったんですけども、ちょっと自分の調整不足と力不足ということで、経済推進部長には深くおわび申し上げます。12月議会で反映させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

一つでございます。

市内小・中学校の図書室エアコンについて、2回目なのでNo.2と記させていただきました。

最近、本当に猛暑は例を見ない暑さであります。去年もおととしも暑かったんですけど、猛暑、熱中症対策という言葉はずっと前からありました。報道等でも、暑さ対策としてエアコン設置というのを促しているようにも感じます。本市も真摯に受けとめ具体化しているような感じに思います。前回質問より1年が過ぎまして、前回の質問と答弁で少しの認識のずれを感じたことと、いただいた答

弁と私の現場での調査と体感が何かしら違いを感じました。財政健全化計画のときに適切に判断できていたと言えるのか、思うところが多々あります。今後の情勢を踏まえて、以下を問いたいと思います。

①前回答弁で、大容量でないものの一定の冷房機能を発揮の見込みなど幾つかの答弁をいただきましたが、本当に適正に運転できているのか。

②このエアコン工事で本当に平等性を認識しているのか。

③このエアコン設置工事からの電気代の変動はいかがでしょうか。28年、29年、30年の暑い季節の7、8、9月分で、可能範囲で結構です。今、9月議会ですので8月、9月はちょっと数字として現れないかもしれませんが、もしあれば結構でございます。

4番目。この質問を通じて今後の対応策はいかがお考えでしょうか。

壇上からは以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君の質問、小・中学校の図書室エアコンに対する答弁を求めます。

教育部長。

〔教育部長（曾和信介君）登壇〕

○教育部長（曾和信介君）市内小・中学校の図書室エアコンについてお答えします。

平成29年度において、小学校では紀見・隅田・城山・三石・信太の5校、中学校では隅田・紀見北・高野口の3校、合わせて8校の図書室にエアコンを新規設置しました。残る12校については、平成28年度までに設置されており、学校建設時もしくは改修時に市が設置したもの、PTAや個人からの寄附により設置したもの、他施設において不要となったものをPTA予算等で移設したものなどです。大容量でないものの、一定の冷房機能を発揮

するという見込みのもと、図書室面積にかかわらず同能力機種を選定し設置しましたが、設置完了時に改めて小・中学校長会、職員による学校訪問により設置状況等調査したところ、平成28年度以前の設置校のうち西部小学校が、また特に図書室面積が広い城山小学校、三石小学校においては冷房の効きが十分とは言いがたい状況であると判断しました。

そのため、西部小学校については、既存のエアコンを撤去し新規設置するとともに、城山小学校、三石小学校については同機種をそれぞれ1台追加設置したところ です。

議員おただしの本当に適正に運転できているかという件ですが、図書室のエアコンについては、夏休み前の酷暑の中、児童生徒が少しでも涼しさを得るために、本来の図書室の役割だけではなく授業等でも有効活用することができました。これまでエアコンが効かないという苦情等も特にありませんし、適正に運転できていると考えています。

次に、二点目の平等性を認識しているかというご質問については、平成29年9月議会一般質問において議員からおただしがありましたが、限られた予算の中で最善を尽くし、エアコン設置を行い、設置主体や機能の差異はあるものの全小・中学校図書室に空調設備が整いました。

また、既に図書室にエアコンが設置されていた学校への予算の割り振りについては、必要などころに適切に予算を配分・執行することが、現在の厳しい財政状況の中で求められると考えます。

続いて、三点目の電気代の変動についてお答えします。

新設した8校の7・8・9月分の電気代は、設置前の平成28年が487万2,719円に対し、設置後の平成29年は454万2,801円となっており、22万9,918円の減額となっています。ただし、

使用電力は増加しており、減額となったのは電気料金の見直しによるものです。

なお、平成30年については、8月・9月分の請求がまだ届いていないため、現時点では電気代は不明ですが、7月分の電気代について平成29年と比べると9.4%の増加となっています。これはこの夏の猛暑による影響と考えられます。

現在、図書室の空調設備については、以前に設置したものを含め大きな問題もなく稼働していますが、今後気温等の変化に応じて適切な対応をしていきたいと考えています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）どうもご答弁ありがとうございます。ちょっと最初に申し上げておきたいんですけども、これから端的に話しますので、教育委員会というワードが出るんですけど、この質問での図書室エアコンに関係した課を指しますので、ちょっと否定的な言葉とか出たら、ほかの教育委員会に申し上げておるわけではないので、学校教育課、生涯教育、その他公民館ではありませんので、誤解のないようよろしくお願いいたします。

まず、去年の答弁より長い答弁にしていたんですけども、適正に動いておるといような認識であるのであれば、①、②は前回と同じで答える必要もないですし、三つ目は電気料金の推移というか契約変更なんで、ちょっと数字には出てこないということでまた後日でもいいと思います。使用料が増になったということで。四つ目は、適正であるのであれば、今後の対応策は必要なしと答えたら数分で済むのかなというふうにちょっと感じました。

何を頼むかって、教育委員会にいろんなことをしてよと頼みに行く議員さんとか区長さ

んおると思うんですけども、頼みに行ったら財政難で、無駄遣いを指摘したら適正やと言う。何かここがちょっとおかしいなと思いながら今から仕事をさせていただきます。順番行ったり戻ったりしますが、できるだけ答えやすく問いますので、よろしくお願いいたします。

最初にちょっとスタートラインの確認なんですけども、答弁のとおり、本当に公務員として教育委員会として適正であったというふうに思っておられるんですか。ちょっとお願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）はい、適正であったと考えてございます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。

③の電気代は管財課のご尽力なんです。時間があつたらちょっとキロワット増に応じてお話ししたいと思います。

1番、2番のほうに移らせていただきます。

大きく問わせていただくのは15個ぐらいあるんですけども、根拠についてと追加設置したことについて伺ってきたいと思います。

教育部長は前回答弁で、機種は大きさにかかわらず選定し、扇風機やカーテンの熱の遮断というかでのぐようにというふうな答弁だったと思うんですけども、その気持ちというかその考えは今もお変わりないですか。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）大きさにつきましては全て網羅できるとは考えておりません。おりませんというか、補完するものとして扇風機、それから遮光カーテン等を利用いただければ対応できるかというふうに考えておりました。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）プラス扇風機、カーテ

ンがあれば対応できるという認識でおるということやと思うんですけども、そもそも論が違うんで細かいことは言いません。

そしたら、もともと図書室にエアコンがなかったところ、今回の指摘の8校とプラス西部、すいません、信太小学校については私、調査しておりませんので、7プラス1校の話になるんですけども、同能力を先に信太以外の7校、同能力を選定したその根拠というのを教えていただきたいです。お願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）28年度に、図書室のエアコンにつきましてはスタートしております。そのときにどういう形式のものをとというようなことの論議の中で、動力の、言いますとキュービクルのところまで手をつけてやるのかどうかという論議があったようです。その辺につきましては、じゃなくて、動力をキュービクルまでさわらないというところの備品という機械で対応していくということの流れの中で、そういうことになりますと、単相の200Vのものの中で最大機種として7.1kW、3馬力相当分についての機種を選定したということでございます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。そのとき、僕も何回か当時文教厚生委員長をさせていただいておったんで、今よりは教育委員会にお邪魔する回数は多かったです。机の上とか職員に、これ去年の三菱のカタログのエアコンですね、ありましたし、職員も何枚か持っていらっしやいましたね。これ、今、28年なんで、去年のカタログを探すの苦労したんですわ、結構。定価もガスの種類も新しいの変わってきますしね。いろいろこれから問うていくんですけど、今の再質問の答えに対してちょっとお伺いするんですけど、根拠を聞いて答えはそれで正しいと思うんです

けど、その流れとかこの根拠について、教育委員会の中だけで決めたんですか。こういう技術的なこと、単相がどうのとかキュービクルがどうのというのは事務屋さんの教育委員会だけで決めたのか、それとも専門性のある方をちゃんと入れたのか、そこらをお伺いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）もちろん技術的なことの判断につきましてはわからないところも多々ありますので、それについては建設部局とご相談もさせていただいて、アドバイスを受けて進めたというのが実情でございます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）そういう答弁でしたら合っていると思います。技術屋さんの根拠を入れてこのエアコンの設定をしたのであれば、間違いないのかなと思うのは当然なんかなというにおいもします。ちょっと時間が不十分なんで問うていきます。

私が不十分と思われる場所、この7校に対してなんですけども、部長は十分と思っている。教育委員会は十分と思っている。僕は不十分だと思っている。だから、この場にあるんですけども、図書室、すり合わせといういろいろなお話を教育部長とさせていただく中で、ちょっと引っかかることがあったんですけども、普通に運転できているのであれば、僕が調査に行かせてもうて冷たい、普通に涼しいところも確かにありました。でも、何分ぐらい前にスイッチオンにしたらこの冷たいというか、普通の30℃以下、26、27、28度ぐらいになるというふうな調査をしてあるんか、ちょっとお答えいただけますか。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）何分後に何℃というような調査は行っておりません。ただ、私が行かせていただいたところに、温度につい

て聞いたところ1時間前に入れてあるという
ようなことのお話を聞いておりますので、時
間ごとのものについてはちょっと掌握してご
ざいません。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。
あのとき1時間ないし1時間半ぐらい前にス
イッチ入れといたら効くんとちゃうかとい
う話を聞いたので、そこにひっかかったの
で、ちょっと議事録に載せておきたかと思
います。

次、行きます。根拠についての判断基準な
んですけど、追加につけたところ、三石、城
山小学校を能力不十分というふうに、この2
校だけは判断いただいたわけでございますけ
ども、この判断基準というのはいかがです
か。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）設置後、各設置
した図書室については回らせていただいて
ございます。担当者なども回っております。
それから、効き具合についても先生方等
のご意見もいただいて判断をしているとい
うところで、ほんで、城山、三石につ
きましては面積も大きい、それから立地
条件等も勘案して増設の判断をいたしま
した。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）先生の意見を聞
いて不十分なんでしょうという広さ的な
ことを今おっしゃいましたけど、教育委
員会からいただいたこの資料、単価とか
予算とかあれなんで映せないですけども
、増設に値する一番大きいのが三石小
学校ですね。その次は城山じゃなくて、
高野口中学校なんですよね。何か広さ
的に考えたらおかしいし立地条件もそ
んなに変わらないし、ここがちょっと
おかしいなと思うんですけど、クレーム
というか意見があったんで三石と城山
につけたということで、それは去年の
一般質問でもちょっと似たようなこと

があったんで、ここはそれ以上掘り下
げないんですけど、前回の答弁で教育長
なんですけど、私自身効くか効かんか
は設置するまで状況を把握できなかつ
たんだ。それだったら、設置する前に
基準を決めないといけないのに、設
置するまで効くか効かんかわらんもの
って、皆さん、買いますか。そこがち
ょっとまず根本的におかしいと思うん
です。

効くはずやったって、建設部長にまた
後でしびれる答弁をいただきたいん
ですけども、効かないのをわかっ
とって買いますか。ジョーシンやヤマ
ダのチラシ、日曜日や土曜日入
って、皆さん、欲しい部屋に対して
効くか効かんかわらんもの、教育委
員会は買います。ここがちょっと僕
がひっかかるんです。それに対して、
教育長ってほんまに多忙なん
ですよ。こんな質問をしたら場合と
ちやうんですわ。専門家に任せて引
っ込んだらええんとちやうんかな
って、僕ここがおかしいと思うん
です。

これ無駄と言ったら、一生懸命や
つとる質問で答えてもうとるんで
無駄という言葉は不適切なん
でおわびするんですけど、あくまで
例えの話であって、普通の堀内の
基準で言うたら、よそは知らん
ですよ、平米数に応じて機種を
選定して見積もりして買う。工
事代が、銅管の距離が長かったら
工事代はプラスアルファかかるや
ろうし、壁の裏にすぐつけれる、
議会事務局みたいにすぐ後ろに
室外機が置けるんやったら最短
の安さになる。これ中学校ぐ
らいから僕らぐらいまでだいた
いわかると思うんです。それを
教育委員会はつけてみないと
状況が把握できないのにつ
けた、買った。これは無駄遣
いというふうに思われても仕
方ないんとちやうんかなと僕
は思います。今やつとる人件
費も税金です。これ効かなか
ったらメーカーに文句言う、
もしくは設置業者に文句
言う。電話一本で終わるん
とちやうんで

すか。ちょっとご答弁ください。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）確かに設置して効くか効かないのかわからなかったという答弁はさせていただいています。ただ、その効く効かんという表現になるんですけども、どれだけの効果があるのかという部分での不明な点であります。効く効かんというのは、温度がどれだけ下がるかという部分でのわからない部分があったというふうに捉えていただいたらと思います。

それと、私、去年エアコンを入れさせていたいただいたのは、読書活動の推進という大きな目的もございます。これは私自身非常に大切にしていることです。やはり読書活動を推進するために図書室の環境をよくしたい。そのために私自身も回らせていただきました。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。エアコン選定基準の世間一般論なんであれなんですけど、教育委員会はそれでいいと思います。したいようにしたらいいと思います。ただ、僕は選挙で受かってきた議員なので、質問を続けさせていただきます。

いっぱいあり過ぎてあれなんですけども、この部長の答弁から算定基準ですね、予算の話に移ります。2,000万円ほど予備予算で計上しとると。議会議決案件ではなくて教育委員会の中の図書室にエアコンをつけてあげたいんだということで、財政課に予算要求して2,000万円ついとると、そういうふうな認識でおるんですけども、教育委員会の中のお金ということになると思うんです。その目的の色が図書室のエアコンやったということやと思うんですけども、この2,000万円の算定方法、これはどうやって出したんか、ちょっと教えてください。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）流れから申し上げますと、28年の9月議会で13番議員からもご質問いただきまして、今教育長もおっしゃいましたように図書活動を充実したいというようにこともあり、市長からもゴーサインが出たということで設置に向けて進み始めました。その中で1校300万円という一応縛りの中で、政策調整会議等に諮りまして進んでいったという経過はございます。

その後、先ほどもちょっと申しましたが、キュービクルまで含んだ工事にするのか、それから一般工事にするのか備品対応でいくのか、さまざまなそういうようなやりとりがあった中で、そのまま300万円というのが既成事実となったんですけども、それにつきましては工事としての予算の積算は後ほどいただきまして、ほぼ要求額と変わりのないものの数字が出てきております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。去年の議事録なんですけど、僕の取り違えやったらおわびするんですけど、上田部長に去年の今頃むちゃぶりしました。実施計画というのかな、政策調整会議的なところでこういう議論はなかったんですかと聞いたら、上田部長は実施計画に係る政策調整会議のことだと思うんですけど、それにおいてそういった議論はなかったように記憶していますというふうに去年言うていただいとることを議事録に載せさせていただきます。

今聞くんですけども、今の話を聞いていたら、政策調整会議なんか教育委員会の中の会議なんか、それはどちらでもいいです。もういいです。今やったら建設部、技術屋の部署に適切に指摘をいただいた容量計算において、教育長、教育委員会が子どもたちに少しでも

図書のをあれを充実してあげたいから早期に急いだんや的に私は感じるんですけども、本当に子どものことを愛しとるんであれば、言わずともわかる答えがあると思うんです。

後でも重複して言いますが、エアコンって夏だけのものと違うんです。各教室やったら灯油でストーブというのはよくありますけども、図書室にエアコンが入ったら、冬になったらスイッチ押しに行きませんか。行きませよ。図書を促して環境を整えてあげると言うんやったら、冬のことも考えなかつたんですか。ちなみにこのカタログ、どこのカタログを見てもそうなんですけども、冷房の畳数の表示より暖房の畳数の表示のほうが平米数は大きく書いてあるんです。例えるなら、6畳の子どもの部屋があるとしたら、6畳用のエアコン冷房で効きます。でも、暖房のときには4.5畳しか効きませんよと表示してあるんです。

もう一つ言えば、三菱のエアコンなんであれなんですけど、名前もしあれやったら削除しといてください。これ全部見たらわかると思うんですけど、学校用ってこれあるんです。学校用エアコンってわざわざ出とるんですね。大きさとかだいたい全国平均一律で広さがどれぐらいであろうということ、二つの例が出とって、天つり型なんかどうのこうのとか、たいがい特別教室というのは埋め込みができないことを予測されるので、天つり型とかいろんな案を出して、ほんで、スイングが全員に均等に行き届くであつたりとか、フィルターの掃除がしやすいとか、管財課じゃないですけど25℃から30℃に制限かけれるとか、操作ロックもかけれる、消し忘れタイマーがある。カタログを持っていたよ。これ、技術屋さんのほうに話を聞いてやっただけなんですけど、これ、教育委員会、勝手に決めたんちゃうんかなって僕は思うんです。後で

また建設部長に、当時、建設部長ちゃうんでの確な答弁できると思います。よろしく願いします。

ほんまにこれ笑いごとと違って、ここの300万円の根拠もおかしいですね。いただいた資料を見ましたら、もう一つ聞くんですけど、300万円に対して、例えば、すいませんね、後ろに田中議員がおるんで高野口中学校を例えに出しますね。ほんなら、300万円の根拠で、ワイヤレスリモコン、室内機、室外機、3馬力、天井、単相200V、これ定価税込みで90万9,360円なんです。定価でね。これ300万円の積算根拠と言うたら、300万円で設計の金額、誰かが設計したんでしょう。設計が236万880円になつとるんです。ほんなら、この金額ぐらいでいけるであろうという積算根拠、設計金額があつて、ほんで90万円定価で買ったとして、何でこれ145万1,520円ぐらいの工事になるって、どこのどなたが計算されたんかちょっと答えてください。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）予算の積算の根拠につきまして、先ほども申しましたように、工事でいくか備品でいくかということの中で、工事の設計としてはそれぐらいが必要であるということで積算の根拠をいただいております。例えば、共通仮設でありましたり、現場管理費であつたり、一般管理費等々乗った金額が、例えば、紀見小学校で言いますと、236万円というような形になってございます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）全然聞いとる答えを返していただいとると思ふんですけど、部長もしんどいと思ふんやろうけど、やっぱりこれが正しいと言うた以上はちょっと考えらなあかと僕は思ふんです。同じ子どもたちが、PTAとか寄附とかほかでいただいとる子らは容量が完璧なんです。冬は暖かいし、

夏は涼しいし、26℃、27℃ぐらいでやっとなります。それをないところが市長がつけてあげようとなったんや。市長、多分、この中身をほんまに知っとるんかなと僕は思うんです。後で時間あったら聞きます、1時間しかないんで。

でも、こんな市長のゴーサイン出たって、市長のせいにしとる、建設部のせいにしとる、当時の建設部長どこかで聞いたら怒りますよ、こんなことを言うたら。私らちゃんとやっとなるんちゃいますか、ひょっとしたら。仲間で同じ釜の飯食うとる職員なんでしょう。ここがずれとると思いますよ。もう一回、教育委員会として適正であったかと聞きたい、ここで。後でまた聞きます。

ちょっと時間があれなんで簡単に走りますが、普通に僕が試算するに、僕は技術屋でも何でもない、資格もないです。でも、このカタログを見て教育委員会よりちょっと電気を知っとるぐらいのレベルです。それで言うたら、隅田中学校は5馬力必要やと思います。紀見北は6馬力、ほんで高野口中学校はちょっと暑かったんで8から10馬力やと思います。城山は6馬力必要です。三石は絶対に10馬力、もともと必要です。紀見は5、隅田は5、信太はすいません。西部はまた後で言うんですけど、これだけのものがある。その一回り大きいのをつけて節電に努める。冬も対応してあげようというのが図書を勧める教育委員会、教育長の考えであるべきじゃないんですか。いかがですか。

○議長（岡 弘悟君） 教育部長。

○教育部長（曾和信介君） 先ほども答弁をさせていただきましたが、29年度の夏に間に合わせたいということで、私も29年の4月に着任をいたしましてすぐに図書室のエアコンに着手をいたしました。そういうところで、それから設計等を組めば夏に間に合わないとい

う判断もいたしまして、備品対応での設置になりました。先ほどと繰り返になりますが、備品等の対応でいくとすれば、単相の200Vということになりますので、3馬力が最大機種ということになりますのでそれを選定したということでございます。それでも一定の冷房は効くものと判断をいたしました。

○議長（岡 弘悟君） 12番 堀内君。

○12番（堀内和久君） 1個だけ勉強させてください。備品でいくかどうかとよう言いますが、備品やったら3馬力単相にせなあかんという定義か何かあったんですか。

○議長（岡 弘悟君） 教育部長。

○教育部長（曾和信介君） キュービクルからとるという工事をなくすとすれば、単相の配電盤から引かなあかんというようなことで、その機種が最大であるということの認識でありました。

○議長（岡 弘悟君） 12番 堀内君。

○12番（堀内和久君） 多分、建設部局の後ろの方には電気や建設、設計できる方が多分おられると思います。この中にもおられると思います。間違ったことを言っていると思いますよ。キュービクルからとるとれへんというのはまた後で話ししますが、キュービクルからとるとというのは、今現在寄附でいただいたところからキュービクルからとるとという実証あるということは、各小・中学校それだけの予備電力、ブレーカーつけたらあるんです。引っ張ってこれるんです、安い線で。

ほんで、今後市長の施策がもし全教室エアコンがついた暁にはということまで見据えたときに、動力で引っ張とくのが普通なんです。この工事しか無理やという根拠は、教育委員会では出せないでしょう。建設部局、そんな不細工なこと出さと思えません。ほんで、ちなみにこれやったら、今回の入札から何やかんやしましたけど、誰がこの設計をしたの

かほんまはお答えいただきたいんですけど、普通やったらこれ80万円、実際に使った金額は安いところで60万円から、高いとこで70万円ぐらいで、高くても80万円以内で全部おさまっていますよね、1校当たり。300万円の予算に対して設計が150万円から200万円ぐらいの間で、ほんで結局60万円前後ぐらいでつけていって、財政難と違うんですか。安く上がったと違うでしょう。ずさん過ぎるといって、1校の計算やったら予備予算とか備品ってまた逃げますけど、1校当たり80万円ですって、小・中学校全教室やったら何教室ぐらいあるんですか。200ぐらいでいけるんですか。1億6,000万円がいけるとなったら、財政課長、どれくらい喜ぶんと違うんですか。補助金要りませんよね。こんなばかな話ししとったら、よそに笑われるですよ、ほんまに。後からつけてとって。

ほんで、この工事があかん、ええというのは、教育委員会と僕との性格や考え方も平行線たどるからあれやけども、第三者が見たときにどっちが正しいかということになるんですけど、ここで財政課にお伺いするんですけど、2,000万円の根拠、2,000万円要求してきたとき、前財政課長でもいいですね、今、目合ったんで。「2,000万円くれよ」と言うてったときに、「よっしゃ出したろ」と減額せんとして出したったわけでしょう、子どものためやたらって。これ聞いてどない思います。

○議長（岡 弘悟君）財政課長。

○財政課長（井上稔章君）2,000万円の……。

○議長（岡 弘悟君）暫時休憩いたします。

（午後1時37分 休憩）

（午後1時38分 再開）

○議長（岡 弘悟君）再開いたします。

総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）この予算の根拠で

すけれども、平成28年9月議会だったと思いますけれども、図書室エアコンについての一般質問がありまして、そのときに1校当たりいくらということでもかなりの議論があったように記憶しております。その中で1校300万円というようなことが、ある程度目標といえますか決定づけられまして、その後、先ほどから言っておりますように実施計画でありますとか予算要求がありまして、一般質問での1校当たり300万円というふうなことでしたので、要求も1校当たり300万円、7校分で2,100万円だったんですけれども、その部分について個別の査定といいますか一括査定ということで、要求どおり2,100万円。これは先ほどは予備予算というようなことでしたけども、予備予算ではなしに通常の予算よりも上乗せしてつけた備品購入費の予算ということで、2,100万円予算措置しております。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。これね、使い方はやっぱり僕はおかしいなと思うんで、納得いくまでやっぱり議員でおる間はただしていきたいと思います。ちょっとそういう話なんですけど、この使い方について財政当局は実際この300万円の根拠というのはちゃんと示されたんですか。聞いて納得して出したんですか。教えてください。

○議長（岡 弘悟君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）先ほどもご説明しましたように、その一般質問のときにもかなりの議論がありまして、その中で1校当たり300万円というふうな金額が出ましたので、それを尊重して予算づけしたというところです。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）すいません。総務部長には申しわけないんですけども、300万円の根拠は、ほんなら裏づけた根拠はなかったということですね。言われたとおりの思いを出し

たということになりますよね、きっちり。定価が今言うたとおり100万円もせえへん八十何万のもんで、200万円の工事するかもしれへんでこんだくれって。定価を上回る買い物はこの世の中には存在しないでしょう。送料ぐらいちゃうんですか、備品と。エアコンの室外機の足、数千円ぐらいちゃうんですか。そこらが何かちょっとキャッチボールしにくいんですけどね。

お待たせしました、建設部長、私にも力強い支援の言葉をいただきたいんですけども。ちょっと先にすいません。教育部長、もう一個、聞いたとき、建設部長に聞く前に。この工事業者の容量不足の指摘というのは工事業者から、僕と同じ思いの工事業者おれへんだんかなと思うんですけど、指摘なかったんかちょっとそれだけお答えください。建設部長、ちょっと待ってください。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）おただしにつきましては、入札後ということでございましたら特にありませんでした。それ以前にも特定の業者からそういうことをいただいたというのは、私の知る限りではございません。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。ありました。僕にはありました。後で言いますが、ありました。部長のところには来ていないんですね。どこでとまってるんでしょうかね、教育委員会の。これ、すごい問題なことやと思いますよ。

建設部長、お待たせしました。これね、容量不足、私確信して勢いで来とるんです。できるだけクールにいくんでクールにお願いしたいんですけど、この設計、さっき建設部、聞いたって言うてましたよね。前建設部長のときやと思うんですけど、あり得ない話やと思うんですけど。そんな、すいません、言葉

悪いんですけど、変な答えを返したんですか。お願いします。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）誠に答えにくいんですけども、前任の部長、課長に聞き取りしてまいりました。確かに教育委員会部局から依頼、そして技術支援、アドバイス等を行っております。はじめには先ほどから議論になっていきますけども、うちの提案は、三相200Vで動力を引っ張って適正な能力をとということで提案させていただいています。そこから、財政的制約及び工期的な制約によって、教育委員会が苦肉の判断して実施されたというふうに聞いております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。備品やというところがそこにあるんかもしれませんが、そんな備品やったら要りませんね、はっきり言うて。効けへん。追加でもう一個、備品に備品に備品でいくんですか。おかしいですか。工事代三つかかるんですよ。もしこれ、三石、城山効けへんとなったら3台目入れるんでしょう。何かおかしいなと思いますけどね。こんな曲がとるなと思って、考えられないんですけどね。

ちょっと伺います。財政課、建設部を踏まえて、教育委員会は何で周りの指摘を受けとめないのか。ストップしないのか。相談しないのか。ベストの金の使い道を選択しないのか。これ間違いと虚偽ぐらいのね、僕は感じます。前の話、昔の話して悪いんですけど、前にボーナスの申告もれや何やかやあったじゃないですか。僕はみんなでカバーしたらええって、僕は反対討論したんで、僕はああいうのはみんなのミスなんで、みんなでカバーしようという考え方なんです。でも、この件は教育委員会の責任とちゃうんですか。これ

は暴走やって。今回の件は故意的であるように思います。ほんで、さっきの知らなかったという話ですけど、議長、足つかんで悪いんですけど、議長になる前、僕が文教厚生委員長の時、これは問題になるからやめとけて僕は言いに行ったでしょう。これを言わしたのはあなた方ですよ。違いますか。備品であろうと単相であろうと動力であろうと、容量不足のものをつける買い物は、財政難の中で給料カットしとる中で、格好つかんからいかんでしょって。いかがですか。答えてください。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）29年度入札終わりますして、契約も終わった中で、議員からたしか6月5日に教育委員会のほうにいただきました、業者の1社から容量不足があるがということでの話をいただきました。それにつきましては、5月24日に既に契約もして、他の業者さんについても動いておる後のお話だったかと思います。それ以前については私の中では、聞いたことについては記憶にはございません。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）この議会で記憶にございませんという言葉が聞くとお聞きしませんが、ちょっと時間がないので、効いているところもあるんで、教育委員会のメンツもあるんで、僕も言わせてもらいますわ。

三石小学校、先に隅田小学校に行きました。温度計持って走り回ってきました。21℃のリモコン、これびってリモコン押したら、前に使った人の温度で切って終わるとるんですね。21℃になっていまして、校長先生立ち会いのもと、ここはちょっと特徴で印象に残っているんですけども、小学生がバス通学しているんですね、隅田小学校は。バスを待っている間、子どもたちが校長先生が集まれば、

ここで宿題せえって。先生見て、新しい先生、何ちゅう先生ですかね。なかなかおもしろいええ先生やったですわ。で、十数人が一っとうってきて、暑い中クーラー僕がつけてあったんで、15分ほど税金の無駄遣いさせてもうたんですけど、子どもら入ってきたんで無駄ではなかったんですけど、はっきり言って37℃の外気温に対して34℃ぐらいには温度計でなりました。

子どもらに聞いたら、宿題しとる子に「どう」と聞いたら、風当たりええ場所でおった男の子は「ないよりましよ」と。奥の子には僕、聞けませんでした。奥行ったら明らかに暑いから。確かに、でも熱中症対策で、その部屋の中におるといことは大事やと思えますわ。

それと、あと、三石小学校は二つあって、外気温が35℃、照り返しは駐車場めっちゃ暑かったんですけど、これもオンにしたとき22℃でした。ここはやっぱりさすがに追加でやっただけあって、まあまあ風は来るんですけど、子ども数人入ってきたらやっぱりちょっと厳しいなと思ったんで、僕が19℃ハイパワーにしました。ほんなら、やっぱり中央の部分は、ここは涼しかったです。それは認めます。

紀見北中学校も認めます。ここは立地条件よし、ちょっと高さがアンバランスで日陰になっていて、紀見北はこの容量でもいけるとお聞きしませんが、はっきり言って。でも、これは容量計算の枠とは違うんで立地条件なんで、僕は訂正はしません。

城山小学校、これも既にもう入る前にボランティアの方が1時間、2時間前に使っていたんで、ひんやりしてて正直はかれませんでした。でも、15分つけたら29℃以下になって、これもオーケーです。

紀見小学校、15時10分、駐車場めっちゃ暑

かったんです。アスファルトなんで照り返しもあるし、教頭先生に立ち会ってもらって、ここは割と狭いところやったんで、まあまあ効いていました。でも、リモコンを押したときは19℃最強でした。ここは一応、効いていました。

次、隅田中学校。ここは1階にあるちょっとへんぴと言ったら失礼なんですけど、入り口のすぐ横にあって、図書室にしては何でこんな場所にあるんやろうというところで、風通しもええし、また生徒も愛想ええし、何も問題なく、前の人も図書をよく使っていたんで涼しかったです。これもでも、オンにしたときは19℃になっていました。

次、ここなんです、西部小学校。ここは完璧でした。21℃で。何で完璧かって、ここは8馬力ですもんね。ここは7校に入っていないんですけど。当たり前のことを当たり前でできる学校があるんじゃないですか。矛盾だらけで、こんなおかしいことをしとったら、これは市長の足つかんどうに見えるんやけど。普通のことを普通にしましょうよって言うだけやのに、何で聞けないんですかね。僕ら議員というのは、らと言うたら失礼です。僕は何のために存在しとるんですかね。あかんもんはあかんと言うて、何でとまれれへんのかって。

これは何を指すかというのは、19℃から21℃に設定しないと効かないということ指しとるんです。違いますか。今、次また来年さらに1度、2度、熱中症で、もしお子さんが脱水で倒れたりしたら、また1台つけるんですか。最強に下げないと効かないということが立証されとると思うんですよ。教育長、僕に言いましたよね。黒を白とは言えれへんって。すごい失礼ですよ。どない考えたら、僕、黒なんですか。市民から僕、黒く映とるんですか。坊主頭にただけでしょう、ほ

んまに。おかしいんちゃうかなと思って。

ここらに対して8馬力相当に対応していくという気持ちと、さっきも先言うてしもたんですけど、冬も学校の時間に入とんんです。8馬力やったら暖めてあげることできて、ほんで今、市長がやっとなるコミュニティであったりとか防災のときも、停電がなければそこへ入れるんでしょう。ここらも考えて政治とちゃうんですか。お答えください。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）私自身はまずエアコンの冷房のほう、これは何度か、5度近くは下がっていると思っています。場合によってはもっと下がると思います。自分たちとしては去年設置、なるべく暑くなるまでに設置をしたかったというのが本音です。一刻も早く設置をしたかった。

それから、暖房についてのことなんですけども、今、暖房については、今後エアコンについて使用しない。従来どおりの灯油での暖房を考えています。当然、図書室も従来どおり図書室専用の暖房の器具がございますので、従来どおり設置していきたい。ただし、燃料費というのがわかりません、実際言いますと。電気にする、エアコンでするほうがいいのか、または灯油のほうが経済性があるのかわかりませんので、一度モデル校というパイロット校をつくって試算してみたいと、そのように思っています。

○議長（岡 弘悟君）暫時休憩いたします。

（午後1時51分 休憩）

（午後1時53分 再開）

○議長（岡 弘悟君）再開いたします。

教育部長。

○教育部長（曾和信介君）キュービクルをつけて、工事としてその期間に間に合わなかったかどうかということについての検証について

はしておりません。ただ、普通の工事等につきましては、設計をして、それからいろいろ審査をしてやっていく手順を踏んでいけば、夏に間に合わないということの判断を教育委員会はしました。予算につきましても、そういう工事になれば足りるのかどうかについては判断ができなかったというのが現状だと思います。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）水かけ論になるんであれなんですけども、申し上げますけども、判断は間違っていると思います。ほんまに市民の財産を、税金を扱つとる者の矜持を持ったときに、早くしてあげたかった、今年してあげたかったって。いいものをつけてあげようというほうが最優先じゃないですか。穴あいとるところを塞いだるんちゃうんですよ。災害復旧するんちゃうんです。計画性を持って、確かに今年度の卒業生に早うしてあげようという気持ちもわからんでもないです。ほんだから、議長なり文教委員長、ほんであと議員の何名か相談とか、ほんだから、建設部に出した答えと返ってきたことも違うし。こんな税金の使い方されるんやったら、僕は信用できない、はっきり言って。これからはもっと勉強させていただきます。

次、移ります。

苦情について伺いますけど、苦情はないと申すんですけど、苦情はあったんと違うんですか。お答えください。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）苦情につきまして、29年度につきましては、あるところについては対応をさせていただきました。

今年度につきまして、つい先日の校長会まではございませんでした。ただ、先日の校長会におきまして、高野口中学校からは少し効

きが悪い。それから、隅田小学校については温度に場所によって偏りがあるとの意見はいただいております。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）無駄遣いに無駄遣い重ねていただいたら結構です。文句あったんは、もっと前からあったと思うんです。一応、教育部長の耳に入ったのが、今答弁した日からしか認識していないということですよ。それはわかるんです。どこかでとまっとるんですね。クレーム受けるのは学校の現場の先生で、予算執行するのは市で、何かおかしいなと思うんです。それやったら、パブコメとかそんなんって何のためにあるのかなって。もうちょっと慎重にちゃんとお金を使っていたかかないと困るなと思いますわ。これから追加工事するであろうこともちょっとやっぱり精査して考えていかなあかん。何人かで寄ってやっぱりもうちょっと議論重ねてもらわんと、何のために建設部とか技術屋さんとか、設計引ける人がおるのかかわかれへん。

私、聞いた話ですけど、生徒とかいろいろなところでも保護者からもちょいちょいクレーム的なこと、僕には既にありました。ほんで、今部長答弁した、この間までなかったと言いますが、この間まであったかって、何人かの校長先生方に聞いたら、校長会的な今あったっておっしゃった日にちのときに、「なかったよ」と言うてくれたおかしなことを言う人もおるんです。あったとなかったがばらついとるって、どうもおかしいなと思うんですけどね、それも。何かおかしいなと思うんです。あったんやったらあったでいいんですけど。時既に遅しであったということで認識しておきます。

それらを踏まえて、今回のちょうど6分残るんで、副市長に意見をちょっともらえなかったんですけどもね。もう一回聞きますよ。

これらを踏まえて適正な処置を行ったと市民に対して言えますか。お答えください。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）昨年度の設置のエアコンについてですけども、当初、やはり城山小学校は効きが悪いということで言われました。ほかの学校については、エアコンの効果があるということで喜んでいただきました。これは正直なところです。

城山小学校についてはどうするかということで検討しました。ただ、今年度のような急激な温度上昇ではなく、他の教室に比べて図書室はかなり気温が下がるということで喜んでいただいたというのが現実です。こんなんつけてという話はありませんでした。

○議長（岡 弘悟君）適正であるというふうに認識してよろしいということですね、教育長。そうですね。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）適正の度合いが、私にはどこまでが適正かというのはかなり難しいと思っています。本当にどこまで冷えて適正なのかということもございます。

それから、先ほどもお話しさせていただいたように、なるべく早くつけたかったというのも事実です。それに向かって教育委員会が取り組んだということです。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）適正やったということで結構でございます。

市長の思いとかを職員一同理解して職務にあたっていると思うんですけど、僕は完全にこれ、地方自治法30条にかかるなと僕は勝手に思いました。だから、適正なんで失礼があったらおわびします。でも、こんなもんね、不利益与えていますわ、はっきり言って。何より理屈へ理屈で、教育委員会は賢いさかいにここはこうなんで、ここはこうなんでと言

いますけど、市民はそんなん思いませんよ。ここは確かに効いていると言う人が存在するって僕も認めとるんです。ほんなら、追加のところをつけたところとか区分して、アンケートとってくださいよ、最終的に。これが適切か5段階ぐらいで。

もう一つ言わせてもらいますけど、急いでつけたと言いますけど、こんなもん、財政難の中で給料もカットしとんに19℃。管財課みたいに別に28℃設定せえとは言いません。適切な温度というのは、僕みたいな豚とハンサムな教育長やったら温度の体感違うのもわかります。子ども目線と職員目線で考えて、熱中症対策と言ったらだいたい28℃、27℃、26℃ぐらいが適正やと例えるのであれば、アンケートをとってきっちり示してください。いかがですか。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）状況について、例えば、アンケートっていろいろ種類があると思います。私はこのエアコンの効いている効いていないということについては、教職員からお話を聞かせていただくことで十分であると、このように考えています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）おかしいですね。市民の税金を使ってやっとするのに、子どもたちの環境を、保護者にアンケートとれとは言っていないよ。せめて生徒会とか、聞くべきではないんですか。こういう体質が理解できないですね、僕は。それで、もう時間過ぎたらそれでええと思つとるんか、そんなことは思っていないと思いますけど、結局、僕らは時間の制限と言えことの法律の根拠がなかったら言えないんで、まだまだ行きたいんやけども、ほんまに誰か時間譲ってほしいぐらいやりたいと思うんですけども、今後適切に対応していただくしかないことしか言えないん

ですけど、やっぱりこういうことはあっては困るし。

ほんで、あと、もう一個最後につけ加えさせていただきますけど、教職員のヒアリングだけで結構やって言いましたけども、教職員ってそんな教育長に言えますか。学校の先生も聞けんへんと言うてましたよ、何人か。いじめられたらあかんので言いませんけど。でも、ほんまに現場の意見というのは、先生も効いていないという人が存在しとるんです。アンケートとれとは言いませんけども。

ほんで、このお金の使い方もそうです。行政感覚であれなんですけど、2,000万円と300万円と積算根拠と使ったお金。キュービクルからいけたかもしれないのに先のことも考えずに暴走した、私や議員がとめたのにも関与しないで情報共有も無視して、これをやったということを現場の先生や生徒の保護者が知った上で、19℃でハイパワーで運転せなあかんのやってこれも全部わかった上で、ほんまに効いていると言うのでしょうかね。ここだけを一つの課題として、時間もあれなんで、真摯に受けとめていただきたい。ずっと平行線たどるんで、これはまた僕の正義と教育委員会の正義は違うんやろうけど、ここを曲げたら自分の存在価値がなくなりますので、ほんなら今度冬のときに、エアコンが効くかどうか。ストーブでいくと言うてますけど、せっかくエアコンをつけたのに、わざわざストー

ブ灯油運んできて、生徒に運ばすんですか、あるのに。もうちょっと段取りよくしましうよ。

つけれるようにチェックしといたら、台風、災害、いろんなことでエアコンというのは能力発揮するし、これから蓄電池とか補助金で買えるかもしれませんし。みんなで市長を盛り上げようという気があったら、僕の意見もそんな黒とは言えないんとちゃうんでしょかね。そこら辺ちょっと上から目線で申しわけないんですけど、真摯に受けとめていただいて、ちょっと考えていただきたいと思います。自分らが間違っていない、教育委員会が間違っていないと言うんであれば、そのまま結構でございます。今後何かするときは、きちんとやっぱり文教厚生員会なり議長なり、関係の方にちゃんと説明と誤解のないように、これはこないせな仕方なかったんでとか、そういうことは絶対にならないようお願い申し上げて、答弁結構でございますので終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君の一般質問は終わりました。

この際、午後2時20分まで休憩いたします。

（午後2時3分 休憩）